

議会ガイド



ニチレクボールの様子

黄色い的玉めがけて エイツ！

冬期間になると運動不足がちになりますが、12月上旬に行われたなかどまりスポーツフェスティバルでは、老若男女が一緒になりニチレクボール他、たくさんの軽スポーツで汗をながしました。

第4回定例会（令和元年12月）

目次	■ 第4回定例会	……………	P2
	■ 一般質問	……………	P5
	■ 活動報告	……………	P10
	■ 議会の動き・委員会だより	……………	P12

ふるさと納税返礼品予算追加

たくさんの方のふるさと納税寄付に感謝

第4回 定例会

12月5日～
12月10日

令和元年第四回定例会が、12月5日から12月10日までの日程で開かれました。
12月9日には一般質問が行われ、今博子議員、田中洋議員、塚本悦子議員、川山光則議員の4名が、町側の答弁を求めました。
最終日の10日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計補正予算など報告1件、議案16件、同意1件、発議1件を全会一致で承認、可決しました。

補正予算

■一般会計補正予算第5号

補正前総額

74億8862万7千円

補正額

補正後総額

75億1182万4千円

主な補正額(歳出)は次のとおり

□総務費

・ふるさと納税記念品

301万7千円

□民生費

・広域入所委託料

100万円

□衛生費

・社保乳幼児医療費

202万8千円

□農林水産業費

・環境保全型農業直接支払交付金

283万4千円

・森林環境譲与税基金

348万円

・漂着船撤去・処理業務委託料

269万5千円

□土木費

・公営住宅修繕料

300万円

□教育費

・教育情報セキュリティ構築委託料

551万1千円

・小泊ふれあい運動場解体工事設計委託料

300万3千円

□公債費

・長期債元金

31万5千円

・長期債利子

△132万1千円

■国民健康保険特別会計

補正予算第3号

「事業勘定」

補正前総額

17億9600万4千円

補正額

8万3千円

補正後総額

17億9608万7千円

主な補正額(歳出)は職員人件費

「診療施設勘定」

補正前総額

1億4833万4千円

補正額

11万円

補正後総額

1億4844万4千円

主な補正額(歳出)は職員人件費

■介護保険事業特別会計

補正予算第3号

補正前総額

17億756万9千円

補正額

1175万6千円

補正後総額

17億1932万5千円

主な補正額(歳出)は次のとおり

- ・地域介護・福祉空間整備等事業補助金

475万2千円

- ・地域密着型介護予防サービス給付費負担金

303万円

- ・高額介護サービス等費負担金

419万1千円

■後期高齢者医療特別会計

補正予算第1号

補正前総額

2億6374万2千円

補正額

345万8千円

補正後総額

2億6720万円

主な補正額(歳出)は次のとおり

- ・後期高齢者医療連合納付金

345万8千円

■水道事業特別会計補正予算

算第1号

補正前総額

3億5987万3千円

補正額

277万8千円

補正後総額

3億6265万1千円

主な補正額(歳出)は職員人件費

条例関係

■中泊町森林環境譲与税基金条例の制定

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行に基づき、森林の整備に関する施策の財源に充てるため

■中泊町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

青森県人事委員会が行った「令和元年職員の給与等に関する報告及び勧告」を受け、期末手当の支給割合を改めるため

■中泊町特別職の給与に関する条例の一部改正

青森県人事委員会が行った「令和元年職員の給与等に関する報告及び勧告」を受け、期末手当の支給割合を改めるため

に関する報告及び勧告」を受け、期末手当の支給割合を改めるため

■中泊町職員の給与に関する条例の一部改正

青森県人事委員会が行った「令和元年職員の給与等に関する報告及び勧告」を受け、給与月額並びに期末・勤勉手当の額を改めるため

■中泊町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の全部改正

子ども・子育て支援法及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴い条例の全部を改正するもの

■中泊町折腰内オートキャンプ場条例の一部改正について

折腰内オートキャンプ場の利用者の拡大を図ることを目的に、オートキャンプ場特別利用権の発行を可能とするため

■中泊町水道事業給水条例の一部改正について

水道法の改正により、指定給水装置工事事業者の指定について更新制が導入されたことにより条例の一部

■中泊町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い条例の全部を改正するもの

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い条例の全部を改正するもの

■中泊町特定教育・保育施設利用者負担金徴収条例の一部改正について

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い条文の整備を要するため

■中泊町折腰内オートキャンプ場条例の一部改正について

折腰内オートキャンプ場の利用者の拡大を図ることを目的に、オートキャンプ場特別利用権の発行を可能とするため

■中泊町水道事業給水条例の一部改正について

水道法の改正により、指定給水装置工事事業者の指定について更新制が導入されたことにより条例の一部

■字の区域の変更について

今泉地区の国有林の一部を西北地域県民局が神山沢2砂防整備事業を実施するにあたり用地を取得

を改正するもの

専決処分

■青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について

人権擁護委員候補者の推薦について意見を求めるの件

人事案件

現委員の佐々木守善氏の任期が令和2年3月31日をもって任期満了となるため、後任の委員として鳴海晃氏を推薦するもの

その他

字の区域の変更について

今泉地区の国有林の一部を西北地域県民局が神山沢2砂防整備事業を実施するにあたり用地を取得

したことに伴い、当該土地を字区域に編入するもの

・小泊地区の国有林の一部を西北地域県民局が鮫貝2砂防整備事業を実施するにあたり用地を取得したことに伴い、当該土地を字区域に編入するもの

■西北五広域福祉事務組合の共同処理する事務の変更及び西北五広域福祉事務組合規約の変更について

共同処理する事務の変更及び規約の変更が生じたため

発議

中泊町議会議事局設置条例の一部改正について

会計年度任用職員制度創設等に伴い、中泊町職員等の旅費に関する条例の名称が改正されたため

メバルちゃんこ鍋に舌鼓

11月10日に冬季限定メニューとしてデビューした相撲めし「メバルちゃんこ鍋」を「くつろぎダイニング哲。」で頂きました。

郷土の食材をふんだんに使ったちゃんこ鍋を食べた感想は「ちゃんこ鍋という名にふさわしくおなか一杯になれる」「ほかの味もあるのでぜひ食べ比べてみたい」「町内外の友人知人にも紹介して食べてもらいたい」と述べていました。



議会中継は初日から最終日までインターネット配信となりました。

インターネットの視聴は今まで通り

<http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm> でご覧になれます。

役場・パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館ロビーにも中継されています。ぜひ、ご利用ください。

また、議会議録もHPで閲覧できるようになりました。平成31年第1回中泊町議会定例会より会議録が掲載されています。閲覧の方法は、中泊町役場ホームページ → 議会 → 議会議録となります。

傍聴席は、あなたの席です!!

中泊町議会 令和2年 第1回定例会は、3月上旬です。

会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

令和元年 第4回定例会の傍聴者は14名でした。皆さんの傍聴をお待ちしております。

※耳が不自由な方にはイヤホンをお貸しします。遠慮なくお申し出ください。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

●中泊町の保健事業について

- ・ 特定健診及びがん検診の受診状況は
- ・ 重病化予防対策及び特定保健指導の利用状況や取り組みは
- ・ 今後の中泊町の健康増進に対する取り組みは

一般質問

※一般質問とは議員個人が町政全般に対し、行政側に現状や見通しを聞くことです。記載されている内容は簡略化したものです。再質問、再々質問は記載しておりません。詳しくは中泊町ホームページをご覧ください。



今 博子 議員

況は変わったか。特定健診及びがん検診の受診状況をお伺いする。

A

■山中哲哉町民課長

今年度の特定健診、がん検診の受診状況は、特定健診については9月時点で13回の集団健診の実施及び13カ所の委託医療機関で実施し、対象者2,927人のうち受診者数は925人で、率にして31.6%、対前年同時期と比べて1.0ポイントの増となっている。

Q 健康を考えると、どうにもできない病気が数多くある。気をつけて日常生活習慣を見直すなどの知識を得るにより、生涯にわたって健康で充実した生活を送ることにつながるものと考えられる。そのため、町の保健事業が健康増進のため重要な立場に置かれていると思っている。このことを踏まえ、町の保健事業について質問する。

また、今年度より無償化を実施しているがん検診については、9月末時点で比較すると、肺がん検診は1.3ポイント増の19.0%、胃がん検診は0.9ポイント増の13.5%、大腸がん検診は1.8ポイント増の19.9%、子宮がん検診は2.5ポイント増の7.9%、乳がん検診は2.3ポイント増の10.3%、

前立腺がん検診は2.4ポイント増の17.5%であり、特定健診、がん検診ともに受診率が前年度を上回る結果となっている。受診率が向上することは医療費の抑制につながる。ことから、今後も受診者数が増加するよう周知に努める。

Q

生活習慣病や糖尿病などにおける重病化予防対策、特定健診における特定保健指導の利用状況及びこれらに対する取り組み体制をお伺いする。

A

■山中哲哉町民課長

重病化予防対策については、健診データ、レポートデータを活用した受診者への対応に加え、医療機関を受診していない方には受診勧奨を行い、かかりつけ医と連携した保健指導を行っている。

次に、特定健診における特定保健指導の利用状況は、平成30年度は健診結果に基づき特定保健指導の対象となった方は96人である。町保健師による健診結果相談会の開催や個別面接、訪問などの保健指導及び栄養士による食生活の改善等の支援を行い、利用者数は86人であり、最終的に支援プログラムを終了した方は68人で、70.8%となっている。

Q

高齢化社会においては、医療費の抑制をするためには予防が大切であり、地域全体で支え合っていく必要があると考えている。中泊町では、今後、健康増進のためどのように取り組んでいくのかをお伺いする。

A

■山中哲哉町民課長

本町では、平成29年3月に策定した中泊町健康増進計画、健康な子ども21に基づき、健康増進事業を展開している。今後も、計画に基づき実施している事業は継承し、特に高齢者の方々が要支援、要介護にならないためのフレイル予防の事業展開を実施するとともに、健康診査結果における保健指導、食生活改善推進員と連携した食生活改善事業など、ハイリスクアプローチにも積極的に取り組んでまいりたいと考えている。

※フレイルとは：加齢とともに心身の活力(運動機能や認知症機能等)が低下した「虚弱」な状態を指し、健康な状態と日常生活で介護が必要な状態の中間の状態のこと

●防犯カメラの設置について

～子どもたちを犯罪から守るために～



田中 洋 議員

ども園、小学校、中学校付近への防犯カメラ設置をする予定があるかお伺いする。

A

■濱館豊光町長

近年、全国各地で小学校の登下校を狙った凶悪犯罪が続発している。その事件の多くは通学路、公園等の公共の空間で発生している事例が多いように見受けられる。11月12日には、八戸市の路上で下校途中の小学生の女子児童が男子中学生に刃物で首を切られる事件が発生した。当該事件がスピード逮捕となった背景には、防犯カメラの映像が決め手になったと報道されていた。

当町では子どもを対象



Q 子どもたちが被害者になるニュースを見るたびに心が痛む。人口が多い首都圏に限らず、我々が暮らす地方でもいつ起こるかわからない。中泊町でも、子どもたちに対する声かけ等の犯罪に発展しかねない前兆行為が報告されている。これから明るい未来を夢に見る子どもたちが犯罪被害者になることは決してあってはならず、そのためには、町が主体となり、しっかりと犯罪を予防していくことが急務だと思われる。

これらのことから、こ

とした凶悪事件は幸いなことに発生はされていないが、その前兆ともいえる不審者による声かけ事案は、五所川原署管轄では2年間で61件となっている。平成28年度は7件、29年度は16件、平成30年度は31件、今年30件と、増加傾向となっている。

青森県では、平成30年11月に防犯カメラの設置

及び運用に関するガイドラインを作成しており、対象となる防犯カメラは3つの要件を全て満たすカメラを防犯カメラと呼ぶということになっている。その要件は、犯罪の防止を目的に設置されているカメラ、不特定多数の人が利用する施設や場所に継続的に設置されているカメラ、画像を記録媒体に保存する機能を備えたカメラ。現在町内に要件を満たしている屋外の防犯カメラは、公共施設では役場に3基、パルナスに1基、その他にコンビニエンスストア、スーパー

1、郵便局など、把握したところでは町内に合わせて14基設置されている。必ずしも子どもたちの安全確保を目的に設置したものではないと伺っている。

公共施設への防犯カメラの設置目的は、施設管理上の監視という観点から設置している例がほとんどであり、駐車場等を含めた施設敷地への不審者の侵入状況等を確認するためのものとなっている。

昨年9月に、教育委員会、学校、五所川原警察署と合同で管内全ての子供たちの通学路や公園など網羅的に調査をしている。その中で特に危険箇所としてわんぱく広場があげられ、防犯カメラの設置を五所川原署長より要望されている。

防犯カメラは、犯罪を未然に防ぐ観点からも、最も効果のある対策の一つであり、また不幸にして犯罪が発生してしまっ

た場合にも、後の捜査に大変有効なものである。防犯カメラは、犯罪の起きにくい地域環境づくりを進めるために欠くことができない重要なツールだと考えている。

一方、防犯カメラの設置については、不特定多数の人が撮影されることから、プライバシー保護、撮影された画像の取り扱い、また設置後のカメラのメンテナンスや電気料金等の維持管理費など、クリアしなければならぬ課題もある。

このことから、町としては、安心で安全なまちづくりを総合的にかつ円滑に推進するために、五所川原警察署や関係機関と十分連携し、通学路を中心に公園や商店街など、暗いところや危ないところなど、事件、事故が起きやすい場所をしっかりと調査した上で防犯カメラの設置を検討してまいりたい。

た場合にも、後の捜査に大変有効なものである。防犯カメラは、犯罪の起きにくい地域環境づくりを進めるために欠くことができない重要なツールだと考えている。

- 宮越家離れステンドグラス・庭園の保存整備の今後の取り組みは！
- 駅ナカ活性化のため、今後の方針について示せ！
- 明の星短期大学サテライトキャンパスの活用状況と今後について



塚本悦子 議員

Q

先日の町民文化祭で専門家達による宮越家の保存活用フォーラムで、来年の秋には期間を限定して公開することが発表された。ステンドグラス史研究家の田辺千代氏は宮越家のステンドグラスは、小川三知の作品であり、いまだに修復の手が入っていない、100年無傷で残っている作品はほかにはない最高の傑作で、町民は誇りに思っていた。だいたいと言っていた。

また、町の依頼で弘前文化財保存技術協会理事長達が、ステンドグラス作品に加え、これまでの

調査で、母屋の庭が明治初期の大石武学流庭園の可能性が高い。また、離れの庭が枯山水、池泉式という異なった様式をあわせ持つ大正期の珍しい庭園であると報告し、今後、ステンドグラスとあわせ、この建物や庭園の整備も必要と思われる。

こういう文化財が町にあることを大々的に町民のみならず全国に発信しなければならぬと思うが、先立つものは財源で



ある。町の宝物が日本の宝物になるよう、今後具体的にどのような取り組みのか伺います。

A

■演館豊光町長

宮越家ステンドグラスについては、今まで新聞テレビ等でもたくさん報道され、町の方にも十分認知をされてきていると思っている。田辺千代という、小川三知の作品を

研究している方が、小川三知がつけていた日記の一文から、もしかしたら津軽の中里というところにある作品があるのではないかという当たりをつけたりを調べて調べに来て見つかったわけである。

言うなれば100年近い眠りから、田辺千代という専門家の手によって日の目を浴びた作品だと思っている。町の宝としてぜひ残し、皆さんに見ていただきたい思いで、さまざまな取り組みをしてきたわけである。

目標は、来年の秋には1カ月程度の試験的な一般公開の予定をしている。その後、本格的な公開に向け、さまざまなメディアを活用し全国または世界に発信をし、インバウンド(訪日外国人旅行)も対象に周知を図りたいと考えている。

保存整備の今後は、宮越家母屋、それから文庫蔵を先行して、国登録有形文化財に指定をいただくために申請をする予定である。現在、弘前の文化財保存協会に調査を行っていたらいてるところである。

その後、離れも含めた宮越家住宅として重要文化財の指定を目指している。

宮越家住宅庭園を公開して、その歴史的、文化的価値を広く伝えていくために、文化財に専門的な知識を有する方々で構成された宮越家住宅・資料保存活用検討委員会を設置している。その中で保存管理、環境保全、防災対策、公開方法等の活用方針を現在検討している。検討委員会の意見が間もなくまとまることになっているので、参考にしながら宮越家保存活用計画を、町としての計画を策定し、整備等を進めたいと考えている。

当然、保全整備にはお

金がかかるが、財源の部分については、登録有形文化財への登録、それから重要文化財の指定等にされたら、調査、保存、活用等に対して国からの補助金等を交付していたらと伺っている。

そのほかに財源というのは今のご時世、さまざまな活用の資金をご支援いただく方法がある。クラウドファンディングや、企業版ふるさと納税、特定の目的を指定したふるさと納税があるので、さまざまな資金をご支援いただけるような仕組みを活用する。その時々状況に適した財源を選択し、保存、整備を進めたいと考えている。

宮越家のステンドグラスを含めた住宅等の文化財を、我が中泊町民が内外に自慢できる、誇れる宝物として保存、整備できよう、公開に向けて鋭意取り組んでまいりたい。

Q

平成21年に津軽鉄道との話し合いを持って、金多豆蔵応援隊は地域の活性化を目的として、ボランティアの志を持った人たちが結成された。その後平成24年には駅ナカにぎわい空間が開設され、その間毎日のように町民たちにコミュニケーションの場所として、また憩いの空間を盛り上げてきた。ただ、金多豆蔵応援隊の方達も高齢に伴い、来春3月で解散とのことである。駅ナカではイベントもあるが、一時的には盛り上がるが、持続的には町民の満足度にはつながってはいない。これからの駅ナカの活性化について、どのように考えているのかお伺いする。

A

■濱館豊光町長
駅ナカは、平成20年の5月に中里駅舎内のスー

パーが撤退をしたことで、空き店舗となった空間の活用策として21年の8月から金多豆蔵人形劇場が開設されたと伺っている。また、この劇場で月に1回公演される人形劇をサポートするために結成されたのが、金多豆蔵応援隊である。

これまで金多豆蔵応援隊の皆さんが劇場のオーブンやリニューアルに際し、多大なる貢献をいただいたことや、津軽鉄道で来町されたお客様へのおもてなし等、その活動に対しては心からの敬意と感謝を表する。

12月7日、東奥日報社が県内のすぐれた活動した個人・団体に東奥賞を差し上げたなか、津軽鉄道が90年を迎え、この地域の鉄道を守ってきた功績が評価され、東奥賞を受賞された。その背景には金多豆蔵応援隊や、駅ナカの皆さんの活動が大きく貢献していることは理解している。

その上で、今後の駅ナカの運営については、現在町内の12団体等で組織される駅ナカ管理運営委員会が所有者である津軽鉄道株式会社と協定を結んで借り受けしている。駅ナカ管理運営委員会が金多豆蔵応援隊がやめることを踏まえて、今後駅ナカをどう運営していくのか、熟考されたうえで、町としてどう支援できるのか考えていきたい。

Q

町と明の星短大が連携

また、観光としての大きな意味合いも駅ナカにはあり、今我が町の観光がどうあるべきなのか、青森公立大学さんをお願いをして、観光ビジョンも策定中である。この観光ビジョンの中で駅ナカをどう位置づけていくのか、そういうことも検討しながら、今後の駅ナカのあり方について考えてまいりたい。

A

葛西成芳総合戦略課長
今年6月に開設した奥津軽サテライトキャンパスは、小学校での外国語の事前授業、教員向けの外国語指導研修や地域の食材を使った料理教室などを行うとしている。サテライトキャンパスの事務所は、同短大教員1人が毎週金曜日に駐在し、各事業の協議や調整の窓口になるものである。活動状況は、6月と10月の2回にわたり、小泊小学校へ英語出前授業、7月には中里小学校で英語出

協定を結び、学びの拠点としてサテライトキャンパスが完成した。同短大によると、英語出前講座や町民も学べる生涯学習の場を提供したいと言っていた。その後の展開状況はどのようになっていくか。また、今後どのような方向に持つていくのかをお伺いする。

前授業と外国語指導者研修、10月には武田小学校で外国語指導者研修を開催している。

また、サテライトキャンパス講座として、メデイカルアロマ教室をパルナスで9月に2回開催している。最近町内企業で外国人の技能実習生の受け入れがふえており、町としても地域住民を対象とした簡単な英会話教室等の開催を同短大と検討している。

今後青森明の星短期大学が得意とする分野でサテライトキャンパスを通じて、町民の学べる機会をつくるなど、この地域の資源を活かした教室を開けるよう、連携して周知に努めてまいりたいと考えている。

●通学費の全額または半額補助を！

～風力発電事業者に企業版ふるさと納税のお願いを！～

●小中学生の給食費の無料化の検討を！！



川山光則 議員

Q

非常に残念なことに中里高校が募集停止となり、あと3年後には廃校となる。我々中泊の子供たちは、近くてつがる市の木造高校か、あとは五所川原市内にある学校に入学することになる。私が心配するのは旧五所川原市内の高校に通うことになると、小泊地域から一族より高校生2人が通学となれば通学費が1人21万ぐらいであり、2人となると大変な額になる。若い世代の人たちはいろいろお金も必要であり何かよい方法がないか情報収集していた中、隣の今別町では何年前から青

森の高校へ通うのに3分の1を補助している記事が新聞に載っており、こういう形で援助していただけないかなと思いい新聞を見た次第である。

高校通学者への通学費の半額、ひとり親等の収入の少ない子供には全額負担の補助ができないかお伺いする。必ず最後に行き当たるのは財源の問題だが、今、風力発電等もでき税収として固定資産税も幾らか増える。また事業者の方に利益の一部をこれから還元していただくという意味で、企業版ふるさと納税をお願いしてはどうか。

A

■濱館豊光町長

残念ながら中里高校を含む県内3校、田子高校と青森北高校今別校舎は、募集停止が10月23日に開催された県教育委員会臨時会で決定をされ、津軽半島北部から結果として高校がなくなることにな

中泊町の高校進学者の多くは、地元高校ではなく、高い通学費を負担しても五所川原市やつがる市などの高校へ進学しているのが実態である。町

は子育て支援という形で、これまで中学校までの医療費の無料化を、昨年度からは高校卒業まで無料化してきた。また文部科学省の高等学校等就学支援金制度では授業料を支援するなど、高校生を抱える世帯の経済的負担の軽減を図っていると承知している。今後県に対して、閉校になる地域の現状を考慮し、県内どこからの通学でも同じ教育が受けられ、通学費用面でも格差が生じない支援等を県の地域政策として行うよう、関係部局へ働きかけたかと考えている。

Q

国より先に町が保育料無料化を行い、次に国が保育料無料化を打ち出して、町として今まで無料化していた中の大部分の

経費は残ると勘定する。その残った経費で小学校、中学校の給食費の無料化を全額でなくてもできる範囲でやれないかお伺いする。

A

■毛内康裕財政課長

今年10月から保育料の無料化に国が取り組み、従来町単独で行ってきた経費の一部を負担することとなった。今年度ベースで積算すると、町が行ってきた保育料無料化の経費が約3,300万円であり、国の制度上、歳入として見込まれる経費が年間2,500万円と試算される。

学校給食に係る年間費用は、小学校と中学校を合計すると3,199万2,000円となっている。このうち経済的理由により負担が厳しい家庭に対しては、既に生活保護や就学援助制度により666万円を町が負担している。差し引くと、全児童の無償化には新たに

2,533万2,000円が必要となる。

今般の幼保無償化に伴う国からの交付金を給食費に充てられないかということだが、平成30年度決算を見ると町の財政状況は依然自主財源に乏しく、地方交付税に依存しており、一般財源が不足している状況にあり、これを給食費に充てることはなかなか困難であると考えている。

現在当町が行っている子育て政策には、国が行っている保育料の無償化の基準に対応していない部分の経費や、18歳までの医療費、予防接種の全額無料化など、県内でも子育て環境には充実した政策を行っているところである。これから小泊中学校建設事業や総合福祉健康センター整備事業など大規模な事業が控えている中で、今回の給食費無料化については、今後の財政状況を勘案ししっかりと議論を重ねていく必要があると考えている。

活動報告

認知症サポーター認定

12月10日、第4回中泊町議会定例会終了後、中泊町包括支援センター職員が講師となり「認知症サポーター養成講座」を受講いたしました。

この講座を受講したことで、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者となりました。よろしくお願いいたします。



永年功労者表彰受賞

野上祐一議員(写真左)と野上憲幸議員(写真右)両名がこの度全国町村議会議長会より議員活動を通じて、30年以上にわたり地方自治の振興及び住民福祉の向上に対する功績が認められ、創立70周年を記念して表彰されました。

また、12月5日には第4回中泊町議会定例会開会前に長利司議長より賞状が伝達されました。



第63回町村議会議長会全国大会

11月13日にNHKホール(東京都)において、第63回町村議会議長会全国大会が開催されました。

南曇正町村議会議長会副会長のあいさつ後、安倍晋三内閣総理大臣、大島理森衆議院議長他多数の来賓の方よりご祝辞がありました。

議事については、令和2年度の国の予算編成対策として「東日本大震災からの復興」など要望37件、「議会の機能強化及び多様な人材を確保するための環境整備に関する重点要望」14点が提案され、満場一致で決定されました。



中泊町議会 2 常任委員会合同 県選出国會議員へ要望書提出

10月29日に中泊町議会議員全員で東京都千代田区永田町にある議員会館を訪れ、青森県選出国會議員へ「次世代を担うスマート農業の普及推進について」要望書を提出してきました。先生方からは、スマート農業は次世代を担う農業者さらに中小規模農業者にも必要であり、さまざまな支援を検討すると心強い言葉をいただくことができました。要望書提出後は木村次郎先生の秘書が国会議事堂(本議場等)の中を案内してくださり詳細に説明して頂きました。翌日は9月に2020年東京オリンピックの開会式が行われる新国立競技場の目の前にオープンされた日本オリンピックミュージアムと鳩山会館を視察。日本オリンピックミュージアムはオリンピックの歴史や日本の活躍、また実際に使用された用具等が展示されていました。

鳩山会館は大正13年に完成され、平成8年に記念館を兼ね一般開放されています。小川三知のステンドグラスは人気で、当町の宮越家離れにあるステンドグラスと比べてみましたが、鳩山会館に展示されているものよりガラスの色合い等違いがあるように見え、町の宝物として後世に残していかなければと感じました。



衆議院議員 津島淳氏に要望書を提出

ステンドグラス見比べ



鳩山記念館のステンドグラス



宮越家離れのステンドグラス

議会の動き

12月

- 16日 西北津軽郡町議会議長会行政視察
- 10日 単行案審議・採決・閉会
メバルちゃんこ鍋試食会
認知症サポーター養成講習
- 9日 定例会一般質問
- 5日 第4回中泊町議会定例会開会

11月

- 27日 第9回議会運営委員会
- 25日 高規格道路建設及び道路整備促進青森県総決起大会
- 22日 中泊町善行者・功労者表彰式
- 20日 小田川二期地区土地改良事業要請活動
- 19日 小田川二期地区土地改良事業要請活動
- 18日 知事を囲む行政懇談会
- 13日 第63回町村議会議長会全国大会
- 12日 西北津軽郡議会議長会研修
- 11日 西北津軽郡議会議長会研修
- 9日 小泊中学校統合50周年記念式典
メバルちゃんこ鍋完成披露会
- 8日 第8回議会運営委員会
- 5日 津軽自動車道シンポジウム

10月

- 30日 中泊町議会二常任委員会研修
- 29日 中泊町議会二常任委員会研修
- 28日 第2回議員全員協議会
- 19日 中里中学校創立30周年記念式典
- 18日 中泊町社会福祉大会
- 17日 町村議会創立70周年記念式典
- 13日 MOA美術館中泊児童作品展表彰
- 3日 西北津軽郡町議会議長会第2回協議会
- 1日 県立中里高等学校存続要望活動

議会運営委員会 (青山 雅晴 委員長)

令和元年11月8日(金)

役場委員会室2

〈案件〉

- 令和元年第4回中泊町議会定例会会期日程及び議会運営に関する事項について
- その他

令和元年11月27日(水)

役場委員会室2

〈案件〉

- 一般質問について
- 提出議案について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他



11月8日の議会運営委員会の様子

委員会だより